随 意 契 約 結 果 書

業務の名称	鹿屋(6)施設最適化総合設計に係る技術協力業務			業務概要	技術協力業務					
方式等	公募型プロポーザル方式			履行場所	鹿児島県鹿屋市					
契約年月日	令和	16年8月6日		履行期間	令和6年8月7日 ~ 令和11年3月15日					
契約の相手方		名称等	鹿屋(6)施設最適化総合設計に係る技術協力業務対象工事 フジ 山佐 最適化事業建設共同企業体	ジタ・植村・豊明・	法人番号 -					
		住所	福岡県福岡市博多区下川端町1-1							
契約金額		¥	50,908,440 (税込) (¥ 46,280,400 (税:	抜))						
予定価格		¥	50,908,440 (税込) (¥ 46,280,400 (税抜))							
選定理由		技術的適正等において最適なものと判断したため。								

評価点の内訳

業務の名称: 鹿屋(6)施設最適化総合設計に係る技術協力業務

	選抜	特定							
業者名	選定·非選定	その他	技術協力業 務に関する 提案	評価テーマ に対する技 術提案	不測の事態 の想定、対 応力に関す る提案	合計	順位	優先交渉権者 の選定	備考
評価の配点		20.00	20.00	90.00	30.00	160.00			
鹿屋(6)施設最適化総合設計に係る技術協力業 務対象工事 フジタ・植村・豊明・山佐 最適化事 業建設共同企業体	選定	14.00	16.00	81.00	25.99	136.99	1	優先交渉権者	

随意契約結果及び契約の内容

VIII. →t				
業務の名称	鹿屋(6)施設最適化総合設計に係る技術協力業務			
業務概要	技術協力業務対象事業			
	建替施設(建替後の施設)			
	・格納庫新設(1階建 約6,700㎡)・倉庫新設(1階建 約5,400㎡)・教			
	場新設(1階建 約1,000㎡)・格納庫新設(1階建 約4,700㎡)・整備場			
	新設(1階建 約2,300㎡)・格納庫新設(1階建 約8,300㎡)・格納庫新			
	設(1階建 約5,200㎡)・格納庫新設(1階建 約4,600㎡)・整備場/倉			
	庫新設(2階建 約4,400㎡)・隊庁舎新設(4階建 約6,300㎡)・体育館			
	/食堂新設(3階建 約7,700㎡)・射撃場新設(1階建 約1,700㎡)・上			
	記以外の1,000㎡未満の建物 計67棟、計約1,900㎡			
	改修施設			
	・隊舎改修(4階建 約3,600㎡)・局舎改修(1階建 約1,200㎡)・整備			
	場改修(1階建 約1,000㎡)・史料館改修(2階建 約2,500㎡)・教場改			
	修(1階建 約1,000㎡)・隊舎改修(4階建 約4,200㎡)・教場改修(2			
	階建 約1,100㎡)・隊舎改修(5階建 約5,200㎡)・管制塔改修(8階建			
	約2,100㎡)・格納庫改修(2階建 約9,700㎡)・倉庫改修(1階建 約			
	1,000㎡)・教場改修(3階建 約1,900㎡)・庁舎改修(1階建 約6,800			
	㎡)・格納庫改修(1階建 約11,000㎡)・整備場改修(1階建 約1,200			
	m゚)・教場改修(2階建 約1,800m゚)・上記以外の1,000m゚未満の建物			
	計 7 1 棟、計約15,000㎡			
	仮設一式			
	建物付带一式、解体工事一式、			
	基地内幹線ユーティリティ一式			
	₩ マヤ ᠠ ᠩᠵ			
	業務内容			
	計画準備、技術協力業務(設計の確認、施工計画の作成、技術情報等			
	の提出、全体工事費の算出、関係機関等との協議資料作成支援、技術提			
却が持ちいたかなっ	案、設計調整協議)			
契約担当官等の	大山名和宗为和北京,能未胜客士只具,京田 古 如			
氏名並びにその	支出負担行為担当官 熊本防衛支局長 宮川 真一郎 能大児能大夫東区東町1丁日1乗1			
所属する部局の 名称及び所在地	熊本県熊本市東区東町1丁目1番1			
契約年月日	令和6年8月6日			
契約業者名	市州の中の月の日 鹿屋(6)施設最適化総合設計に係る技術協力業務対象工事			
大小木 日 石	アジタ・植村・豊明・山佐 最適化事業建設共同企業体			
契約業者の住所	福岡県福岡市博多区下川端町1-1			
契約金額	50,908,440 円 (税込み)			
予定価格				
随意契約による	本事案は、当該基地において、複数の施設を集中的に実施していく大型			
こととした理由	事業であるとともに、その実施に当たっては、自衛隊の運用に支障をきた			
	さない施工計画・仮設計画等が必要となるなど、発注者が最適な仕様を設			
	定できない工事である。このような工事を着実に実施していくためには、			
	仕様の前提となる条件を確定できない早期の段階から、仮設計画や施工を			
	念頭に置いた技術的な知見・ノウハウを設計に反映することが必要であ			

る。このため、設計段階から施工者が設計に関与し、施工者の技術を設計 に取り入れる技術提案・交渉方式(技術協力・施工タイプ)を採用し、技 術提案を求めた。

選定に当たっては、「技術協力業務の実施に関する提案」、主たる事業課題に関する提案として「鹿屋航空基地において、航空機等運用に配慮した解体等の施工計画に関する提案」及び「鹿屋航空基地において、広大な敷地で多数の施設を施工するところ、コスト抑制に関する提案」並びに不測の事態の想定、対応力に関する提案として「鹿屋航空基地において、台風に対する安全確保の課題と対応策に関する提案」について技術提案を審査した結果、事業目的の達成のために総合的に最も評価の高い技術提案を行った「鹿屋(6)施設最適化総合設計に係る技術協力業務対象工事フジタ・植村・豊明・山佐最適化事業建設共同企業体」を優先交渉権者として選定したものである。

本業務は、工事に先立ち技術提案を反映した設計を実施するための技術協力業務であり、技術提案者である「鹿屋(6)施設最適化総合設計に係る技術協力業務対象工事 フジタ・植村・豊明・山佐 最適化事業建設共同企業体」が、本業務を履行することが可能な唯一の者である。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第3号の規定に基づき随意契約を行うものである。

業務場所	鹿児島県鹿屋市
業 種 区 分	建築関係建設コンサルタント業務
履行期間(自)	令和6年8月7日
履行期間(至)	令和11年3月15日
備考	